平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	卒業研究(Graduation Thesis)			授業コード	C109905
担当教員名	片山　秀則			科目ナンバリングコード	J41704
配当学年	4	開講期	通年		
必修・選択区分	必修	単位数	6		
履修上の注意または履修条件					
受講心得	自分で考え興味を持って研究を進めてください。				
教科書	プリント				
参考文献及び指定図書					
関連科目					

授業の目的	研究機関の側面をもつ大学に於いて、研究に唯一接することが出来る機会です。各指導教員より与えられた研究テーマに対し自主的に研究および実験を行い、その研究成果を論文にまとめ、審査を受け卒業研究発表会において報告します。
授業の概要	最近の卒業研究テーマは次の通りです。PWMインバータによる誘導電動機の制御特性(実験的研究)、光テクノロジーの探索研究、情報ネットワークシステム、画像処理を利用した教材作成、パソコン用OS、音声の自然性の計測及び制御に関する研究、空間情報呈示を目的とした視覚現象に関する研究、人の感覚情報を用いた装置開発に関する研究。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : ガイダンス 卒業研究について説明します。	課題提示
第 2 週 : 準備 テーマ分けをします。	課題解答・課題提示
第 3 週 : 調査1 テーマについての調査1	課題解答・課題提示
第 4 週 : 調査2 テーマについての調査2	課題解答・課題提示
第 5 週 : 発表 テーマの調査結果についての発表	課題解答・課題提示
第 6 週 : 実験 テーマについての実験	課題解答・課題提示
第 7 週 : 実験 テーマについての実験	課題解答・課題提示
第 8 週 : 実験 テーマについての実験	課題解答・課題提示
第 9 週 : 実験 テーマについての実験	課題解答・課題提示
第10週 : 発表 テーマについての発表	課題解答・課題提示
第11週 : 実験 テーマについての実験	課題解答・課題提示
第12週 : 実験 テーマについての実験	課題解答・課題提示
第13週 : 実験 テーマについての実験	課題解答・課題提示
第14週 : 発表 テーマの結果についての発表	課題解答・課題提示

第15週： 準備 卒業研究審査会の準備	**課題解答**
第16週： 期末試験ー卒業研究審査会	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	テーマに対する関心を持ち、取り組む意欲を示し、自分たちで取り組む態度により、しっかりした内容をまとめられることを評価します。
【知識・理解】	テーマに対する必要な知識を持ち、原理・原則を理解することを評価します。
【技能・表現・コミュニケーション】	テーマに対する必要な技能を持ち、発表等での表現できることを評価します。
【思考・判断・創造】	テーマに対する考察ができ、次のステップへの検討ができることを評価します。

〇成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	**10点**	**5点**	**5点**	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	**20点**	**5点**		
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	**20点**	**5点**		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	**20点**	**5点**	**5点**	

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**評価の実施方法と達成水準の目安**
レポート・作品等（提出物）	
発表・その他（無形成果）	